

空き家も、境界がわからない山林も、耕作放棄地も自分のどう資産をついでいくかを、決め切れていないのが現状。このため、これらのことを家族も含め考えて、決めておく機会が必要です。そのひとつのツールが「エンディングノート」ではないかと考えています。

このため、福祉医療政策課 地域医療推進室 熊野さんを講師にお招きして、11月10日19時半より、第14回大原まちづくり勉強会を「元気な今だからこそ考えよう「エンディングノート」というテーマで開催しました。

- 1) エンディングノートとは
 - ・これまでの人生を振り返り今後の生き方を考える参考
 - ・急病、認知機能の低下などに備えた終末期（医療・介護）の意思表示
 - ・自身の死後、残される家族への指示、依頼、伝達
 - ・（独居の場合など）連絡先、身元引受の手がかり
 - 2) エンディングノートの注意点
 - ・若いうちから記入しておくことがベター
 - ・自身の考えや状況の変化に応じ、見直し、書き直しが必要 → 記入日を明記
 - ・自身の「思い」、ノートの存在を誰かと共有しておくこと
 - ・様々な種類のノートがある → 自身の状況に合わせて最適なものを選択
 - ・法的効力がない → 相続や権利関係は、専門機関へ相談を
- 講演は「YouTube 大原チャンネル」に公開しています。見てくださいね。



大原の歴史文化・観光交流資源 動画

文化を磨き上げ生かす。

足元を見つめよ！ 自分たちの住んでいるところを説明できる文化人になってほしい龍谷大学の入澤学長のことが頭によぎります。

10月25日の第2回歴史文化・観光交流円卓会議で、ボランティアガイドさんが、あいコムさんの動画があると甲賀地区でのリストを紹介いただきました。大原学区分のアドレスを探してリンクいたしました。

1. ニンジャ駅舎 <https://youtu.be/QoEUx9sElr0>
2. 大鳥神社 <https://youtu.be/7UyvBrJYeYU>
3. 櫛野寺 <https://youtu.be/hJZDqGdKAoI>
4. くすり学習館 <https://youtu.be/wk61z3QMwY0>
5. 補陀楽寺 <https://youtu.be/kBLOqbME8AM>
6. 大原ダム <https://youtu.be/cYgv2yyU3aU>
7. 篠山城跡・多聞寺 <https://youtu.be/Kpivvcu12w0>
8. 仏性寺 <https://youtu.be/JKqYYYYUgF4w>



facebook、LINE、YouTubeへの登録のお願い

大原自治振興会のfacebook、LINE、YouTubeへの登録をお願いします。



LINE 友だち追加



YouTube



発行・問合せ：大原自治振興会
〒520-3435 甲賀市甲賀町相模173-1
TEL&FAX:0748-88-3111
e-mail: ohara10ku@gmail.com
編集：大原自治振興会 広報プロジェクト
発行月：令和2年12月

【編集後記】

本号の特集は、おおはら「やまの健康」推進プロジェクトと活動団体の紹介です。森林保全や活用方法の検討を行い、「やま」と「ひと」をつなげ直すプロジェクト、今後の展開が楽しみです。



Content

- 02 おおはら「やまの健康」推進プロジェクトと活動団体
- 03 プロジェクト、部会、関連組織の取り組み
- 06 facebook、LINE、YouTubeへの登録のお願い

2020年 大原ダムの紅葉の絨毯
Photo 安井正宜さん

甲賀市大原共有財産区

面積約320haの大原財産区有林を含め、甲賀地方一帯は古くから「杣の谷」と呼ばれるほどの森林資源の豊かな地域でした。しかし、明治初年、近代化に伴い、エネルギー源として、また建築材として木材の需要が増大すると、甲賀地方の山々では乱伐が横行しました。なかでも大原共有山は瞬く間に禿山と化すほどの勢いで乱伐が行われました。共有山の禿山化によって、大原地区は、特に明治年間、鉄砲水による土砂流出等の深刻な被害に苦しんだ（大原村役場、1918）と記録されています。被害が顕著になりはじめた1877（明治10）年前後から、共有山の緑化に向けての植樹活動が始まりました。その懸命の努力が実り、林業不況の現在でも一定の評価を受けるほどの優良材（通称「甲賀ヒノキ」）産地となっています。この禿山時代の1896（明治29）年に設置された大原小学校林では、現在までの100年以上の間、植樹活動が生徒・保護者・財産区管理委員（かつては戸長など）の手によって休むことなく続けられています。
https://www.jstage.jst.go.jp/article/suirikagaku/47/3/47_60/pdfより編集



写真：2019年度
125年続いた大原小学校卒業記念植樹
<http://edu.city.koka.lg.jp/3005.htm>

甲賀愛林クラブ

甲賀愛林クラブは昭和49年に設立されました。設立当時の会員は122名、そのほとんどがサラリーマンであったため「サンデー林業」をモットーに余暇を利用して、所有林の共同保育や各種研修会の開催など活動を続けてきます。

平成16年度より、我々上流側、山の人間が下流域の方たちに森林整備、特に間伐の大切さを伝えることが大切だと考え、上下流連携の森づくり事業として毎年皮剥ぎ間伐のイベントを実施しています。現在は大原自治振興会と協働で、大阪府豊中市民や甲賀市民を招き、100人から200人規模のイベントを実施しています。

http://www.foresternet.jp/app/srch1/get_fileより編集



写真：<https://koka-kinoeki.org/2019/07/05/728jogeryu-ori/>

くぬぎの森自然遊び広場&山の暮らし学校

11月15日(日)、甲賀町神の里山で、くぬぎの森自然遊び広場・山の暮らし学校が開催されました。

秋晴れの気持ちのいい天気の中、家族連れなど約10組が参加されていました。くぬぎの森は家族で楽しめる自然の遊び場を自分たちの手で作ろうと10年前から活動されています。

今回は、バイオマストイレ作りや里芋掘りや芋煮作りと盛り沢山の内容で、子供たちが目を輝かせながら参加して活動している様子が印象的でした。

森の中には木登りができる栗の木があったり、土の中からカブトムシの幼虫が出てきたり、普段の生活の中ではなかなか経験できない貴重な体験ができて、自然の中での遊びにとっても楽しそうな子供たちでした。また自分たちで掘った里芋を使った芋煮やかまどで炊いたごはんを自然の中で食べるのも格別で美味しく、日常生活ではなかなか味わえない贅沢な時間を過ごしていました。

くぬぎの森自然遊び広場・山の暮らし学校は毎月第一日曜日に開催されています。山が好きな方、自然の中でのびのびと子供を遊ばせたい方、大人も子供も楽しめる素敵な場所です。

活動に参加を希望される方は、くぬぎの森Facebookページをフォローし、イベント開催時に主催者に連絡の上でご参加下さい。

facebookくぬぎの森自然遊び広場&山の暮らし学校



地域振興部会 + SATOYAMA+ 大原ふるさと再発見

11月14日(土)、地域振興部会は、SATOYAMA+との協働で「秋の里山を歩く」が開催されました

今回は10名が参加され大久保里山再生員会の案内で「楽花園」周辺を散策しました。階段を上ると山頂に忍者と関わりある修験道、役の行者像があり、忍術研究会の西田さんから話をお聞きしました。

道端には、ゲンノショウコやヨモギなどの薬草、落葉(11月下旬)が発酵して綿菓子のような甘い匂いを漂わせるタカノツメ、これからが旬の冬イチゴなどが見られ、里山の自然を満喫しました。

甲南消暑防甲賀分署の近くにある「甲賀木の駅」の土場では、森林整備と地域経済の活性化活動や甲賀福祉作業所も参加した薪づくり活動について学びました。



地域環境部会 里山整備事業

地域環境部会では、今年度の里山整備事業として各区への公募した結果、大久保区と相模区より整備提案があり、採択整備を区との連携で行いました。

9月26日、大久保区の里山「楽花園」の立枯れ木の伐採と整備。11月15日は相模区の里山整備を行いました。



地域環境部会 環境美化活動・ゴミ拾い

日々生活環境は進歩しておりますが、なかなかゴミのポイ捨ては無くなりません。

数時間ゴミを拾ったからと言って、見違えるようにはなりません。拾わなければそのままです。最近ではプラスチックごみによる環境への悪影響が叫ばれております。

また、2022年には全国植樹祭も予定されており、目立たないけれどももてなしの表現の一つとして、かふか夢の森の環境美化活動・ゴミ拾いを9月より開始しています。機会がありましたら、ご参加いただければと思います。

日時：毎月第1日曜日 8時から1時間程度 少雨決行

集合場所：生涯学習館駐車場(上) 自治振興会 のぼり旗目印

実施場所：かふか夢の森施設周辺(上下駐車場等)

持ち物：手袋、火箸など

※・ゴミ袋は自治振興会で用意します。

・お茶の用意は致しますが時節柄お飲み物は各自ご用意下さい。

・中止の場合の連絡が出来ませんがご容赦ください。

・当日の出欠は取りません。



かむらコスモス畑

さわやかな秋晴れの10月25日、神いきいきサロンでコスモス畑に行きました。昼食をみんなでいただき、久しぶりに楽しい会話に笑みがこぼれ、風に揺れるコスモス畑を散策、楽しいひとときを過ごしました。

これからも、「かむら水土里(みどり)守り隊」が毎年、きれいなコスモスを咲かせてみんなの目を楽しませてくれる事でしょう。



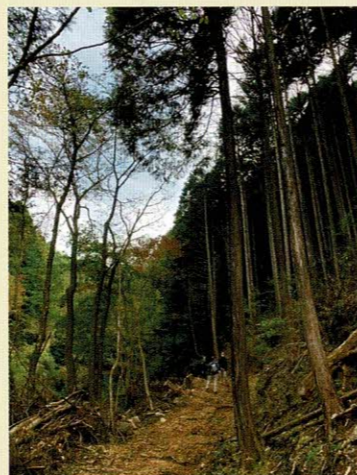
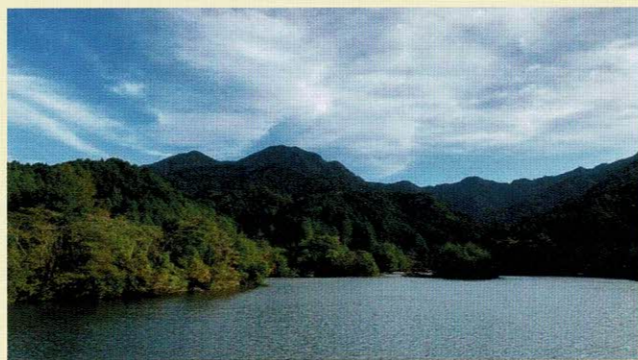
こうかマルシェ

10月11日、11月8日かふか夢の森でこうかマルシェを開催しました。



おおはら「やまの健康」推進プロジェクト

「やまの健康」推進プロジェクトは、滋賀県が2019年度から始めたプロジェクトです。森林・林業・農山村を一つの「やま」として捉え、それらを適切に管理しながら滋賀の活性化につなげようというのが狙いです。県ではこのプロジェクトを推進するために、地域住民自らが、それらの地域資源を活かし、農地や森林等の維持保全の方法検討や、地域経済の活性化等を目指す地域を、「やまの健康」モデル地域として選定し、その活動を支援しています。大原地域は、令和2年度の3モデル地域のひとつに選定されました。このプロジェクトは、おおはらの自然資本である「鹿深のやま」を活かし、森林保全や活用方法の検討を行い、「やま」と「ひと」をつなげ直すプロジェクトです。



大原地域の里山保全活動を行う団体が一同に集まり、協働活動を一層推進するための大原里山円卓会議を母体に推進します。

実施団体：大原自治振興会、甲賀市大原共有山財産区、甲賀木の駅運営委員会、甲賀愛林クラブなど

活動内容：森林整備を通じた山の元気と人の元気の実現 (1)やまの境界明確化PJ、2)やまの魅力を発信知ってもらうPJ、3)鹿深の山のつどいの場づくりPJ、4)間伐搬出木材の流通PJ)

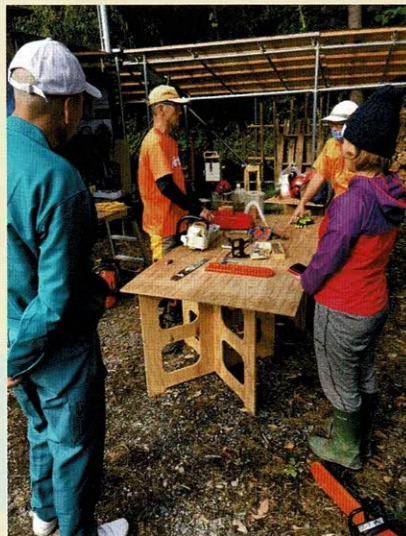
11月1日には、プロジェクトのひとつ「鹿深の山のつどいの場づくり」の一環の活動として、櫛野ダム周辺の「鹿深のやま」現地踏査を、自治振興会、市、専門家、学生、地域の若者メンバーで行いました。

甲賀木の駅

甲賀木の駅とは、会員登録をした森林所有者やボランティアが間伐等で甲賀地区内の林地内に放置されている未利用材を搬出し、チップ工場、土場(木の駅)等に出荷された木材に対し、その代金を地域の商店のみで利用できる地域通貨「モリ券」で支払うことにより、里山の再生と地域経済の活性化につなげる取組です。



facebook甲賀木の駅プロジェクトより



防災プロジェクト 出前講座

9月19日大久保区、10月11日拝坂区にて防災プロジェクトの出前講座を実施いたしました。

今回は、「災害時対応マニュアル(避難編)」を区の自主防災活動に役立ていただくことと企画した出前講座です。

大久保区からは、評議員の皆様と各隣保組の組長さん22名にお集まりいただき、災害時に近所の声掛けが必要なこと、安否確認をスムーズに行う必要性などを強調して進行いたしました。

拝坂区は、例年は全戸参加の避難訓練をされていますが、今年は、自主防災組織の組織図を実効性の高いものに改定し、その主だった方に集まってもらった開催でした。全体での講義の後は、各班に分かれて具体的な行動確認をされました。

今後大原学区内の各区にも展開できればと思っております。



スマイル甲賀(サロン、大原っ子)

スマイル甲賀は、市営住宅大原中集会所を拠点に、主に区自治会入りされていない高齢者のサロンと、子ども食堂を、各々月1回程度開催されています。

11月21日に開催された高齢者サロンは、役員さん含めて9名が参加。座ったままでもできる足元体操をビデオを見ながらされ、DVD(忍野甲賀衆)を見て甲賀郡の様子が写され、歴史の勉強になったと話されていました。

また、脳トレで絵の中の間違い探しを。

来月に折紙でクリスマスリースを作成するという事で少し教えていただき色とりどりで仕上がりが楽しみです。

皆さんニコニコと笑顔で参加されて、コロナを忘れさせてくれそうなひとときでした。



子ども食堂「スマイル甲賀大原っ子」の保護者の方の感想を紹介します。

- 子ども食堂へ行くことで親も心にゆとりができ、子どもにやさしくなりました。
- 一緒に過ごすことで、人のことを考えられるようになりました。
- 子どもがほっこりできる居場所を提供していただき感謝しております。
- 子ども食堂に通っていて自然とマナー等が見についているように思います。
- 学習する機会を増やしていただければ嬉しいです。
- 保護者が参加する機会があってもいいと思います。



地域教育部会 第2回子ども・子育て円卓会議

子ども・子育ての取組を行う団体が一同に集まり、まずコロナ禍でも可能なすぐに取り組める取り組みの検討しました。

行政や地域関連団体が協働して、大原地域の子ども・子育ての方策を探る「第2回子ども・子育て円卓会議」を11月19日、大原自治振興会主催で開催しました。メンバーは大原自治振興会の地域教育部会他、甲賀市子育て支援センター(子育てコンシェルジュ)、てるてるパーク、甲賀市甲賀保健センター、夢の学習、主任児童委員、甲賀図書情報館、甲賀市社会福祉協議会甲賀地域福祉活動センター、大原小学校、にこにこ園、大原小学校PTAでした。

第1回の現状及び課題を受けて、令和2年度、WITHコロナの状況下でも可能な取り組みについて意見交換しました。「今できること」、「人を動かす」ことを考えて、決めて、担っていきたく思います。

今後の協働の取組

- 1)未就園児 地域教育部会、甲賀市子育て支援センター(子育てコンシェルジュ)、てるてるパーク、夢の学習、主任児童委員などの協働による**大原地区子育てサロン**
- 2)小学生 地域教育部会、シルバー大学、夢の学習などの協働による**ボランティア募集、多様な講座の開設**
- 3)小学生 地域環境部会、財産区、木の駅PJ、愛林クラブ、大原小学校、大原小学校PTAなどの協働による**卒業記念植樹、木工などの継続** など
- 4)自治振興会、甲賀市子育て支援センター(子育てコンシェルジュ)、てるてるパーク、甲賀市甲賀保健センター、夢の学習、甲賀図書情報館との協働による取組の検討

